


珈琲屋から旅する昭和の茶の間

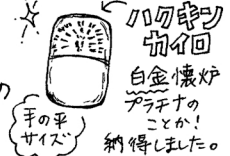
荒田珈琲
新聞 
Vol.60
2023.1.22(日)



1月も下旬になってしまいましたが、2023年最初の新聞です。
今年も荒田珈琲をよろしくお願ひいたします!

先日のこと、仕事中に“冬のにおい”を感じました。どこか懐かしい。知っているにおい。これは何だったか… そうだ、子どもの頃に冬になると祖母が持っていた金属製のカイロがあったような。ベンジンを使っただけ、でもカイロに揮発油なんて危ない気があるし、何だったかなあ…と、あっさりしないので検索するとさあが Google! 1秒で答えがきました。「ハクキンカイロ」です。そうそう、これだ〜!!

きつと知らない方もいらっしゃることでしょ。1923年に誕生したオイル式のハクキンカイロは今年で100周年。祖母が使っていた当時でもおでにロングセラーです。使い捨てカイロの登場で愛用者が減り、レトロな道具になっていたようですが近年のアウトドアやキャンプブームで再び注目が集まっているのだとか。発熱あるしおみは、ベンジンを燃やすすぎではなく、気化したベンジンがプラチナとの触媒作用で炭酸ガスと水に分解されるときに発生する熱を使うためエコなのです。繰り返し使えて長時間温かく、不変のデザイン。化学の発明品であらね。ふわっとな鼻をくぐった懐かしいにおいは、ハクキンカイロを愛用されているお客さまがいらしたのだと思ひます。



余談 ですが、ハクキンカイロは印籠に似ています。家遊びが好きなきどもだったヨメは昔よく午後4時になるとやっていた水戸黄門の再放送を祖母とこたつで見ました。勸善懲惡でワンパターンな昭和のチャンバラは45分ごころクライマックスを迎えます。そうぞう、印籠が出るのです! ひとしきり悪人たちを懲らした後ぞう旦那さんが「静まれ、静まれえ」と発声し、あかざう格さんが印籠を出します。「この紋所が目にいらぬか!」「ハッハハーッ!!」古い記憶が蘇りました。冬のにおいの正体、ハクキンカイロは「おいはあちゃんの印籠」でした。カイロを借りて、「ひかえおろ〜」と、あのシーンを真似した。けなあ…。それにしても、テレビの番組表から夕方の時代劇はいつ消えたのでしょうか。今は早朝4時に「おいはお時代劇」が放送されているようぞうが、12時間も早くなりましたのであらね。西陽の差お茶の間にやけに寒いぞう。

「あ〜人生に涙あり」を子どもが熱唱する昭和の午後4時。最初から素性を明かさないクワイ黄門様ご一行。悪者は顔で分かる (笑)



いちごいちご

冬から春に向けて旬のいちごがますますおいしくなってきました。いちごミルク寒天やロールケーキなど、いちごを使った限定スイーツがときどき登場していまぞうで出会ったときは是非ご賞味ください。季節を感じるおいしさの

一期一会であらよ ☺
イチゴイチゴ



あずきを添えたロールケーキは、和洋のコラボ。

珈琲と合いまあ♡

2月のお休み

- ★18日は土曜日ぞうが、休用のためお休みぞう
- 6・7(月・火)
- 13(月)
- 18(土)
- 20(月)
- 27(月)

☺不便をおかけしまあが、よろしくお願ひいたします!